

平成30年5月

各 位

宮城県卓球協会
会長 柴田幸男
(公印省略)

第52回全日本社会人卓球選手権大会宮城県予選会について(案内)

1. 名 称 第52回全日本社会人卓球選手権大会宮城県予選会
2. 日 時 平成30年7月1日(日)
開場 8:00 試合開始 9:00
3. 会 場 仙台市出花体育館(JR仙石線 中野栄駅徒歩約10分)
仙台市宮城野区出花一丁目13-7 TEL 022-786-3446
4. 主 催 宮城県卓球協会
5. 共 催 仙台市卓球協会
6. 後 援 日本卓球株式会社
7. 競技種目 ①男子シングルス(2) ②女子シングルス(2)
③男子ダブルス(1) ④女子ダブルス(1)
()内は本大会出場枠数
8. 試合方法 各種目とも11ポイント5ゲームマッチのトーナメント方式による。
但し、参加者が少ない種目はリーグ戦で行う場合がある。
9. 参加資格 ①平成30年度宮城県卓球協会選手登録者(大会申込締切日迄に登録手続き完了者)でかつ、第52回全日本社会人卓球選手権大会出場希望者であること。
*当年度の全日本社会人卓球選手権大会と全日本卓球選手権大会(マスターズの部)への重複出場は出来ません。ただし、マスターズの部に参加する者でも、男女ダブルスには出場することが出来ます。
尚、詳細は別紙本大会参加資格参照のこと。
注:全日本社会人卓球選手権大会宮城県予選会においてシングルス種目で代表権を得た選手は、全日本卓球選手権大会(マスターズの部)宮城県予選会には参加出来ません。
10. ルール 現行の日本卓球ルールによる。
但し、タイムアウト制は適用しない。
ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJT TAが公認した接着剤のみを使用すること。
11. 使用球 日本卓球株式会社 40mmホワイト(プラスチック球)
12. 参加料 シングルス 1人2,000円 ダブルス 1組3,000円
13. 参加料 参加料は払込取扱票にて振り込んでください。**【納入期限6月18日(月)】**
納入方法 ゆうちょ銀行振替口座 口座名:宮城県卓球協会 口座番号:02270-3-40587
注意:通信欄に必ず大会名、チーム名、申込責任者の氏名を記入してください。
ゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口、払込み機能付きのゆうちょ銀行のATMからお振り込みください。他の金融機関からの振り込みは出来ません。
手数料はご負担ください。

14. 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し下記宛に送付すること。
事務局への持参、FAXでの申し込みは受け付けません。
〒981-0943 仙台市青葉区国見一丁目8番1号 東北福祉大学内
宮城県卓球協会宛 TEL/FAX 022-233-8364
15. 申込締切 **平成30年6月19日（火）必着**
※参加料の納入締切日と大会申込用紙の到着日が違います。それぞれの期日までに確認できなかった場合には、原則参加できませんのでご了承ください。
16. 本大会 期日：平成30年9月15日（土）～17日（月・祝）
会場：アミノバリューホール（鳴門県民体育館）（徳島県鳴門市）
本大会参加料：シングルス1人 3,000円
ダブルス1組 4,000円
※出場者（組）の負担となります。
17. 備考 ①競技中、万一事故があった場合、主催者側は責任を負いません。
公益財団法人日本卓球協会「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
②ゼッケンは平成30年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
③本大会出場権を得た選手（組）は、予選会当日本大会参加料を納入していただきます。
④本大会出場権を得た選手は、段位取得規程に基づく段位を必ず取得しなければなりません。段位申請が必要な選手は、予選会当日段位申請料を納入していただきます。
⑤大会会場の駐車場には限りがあります、出来る限り乗り合わせてお越しく下さい。
満車の場合は、各自で駐車場をお探しいただくこととなりますことをご了承ください。
⑥申し込みの際は、必ず参加申込用紙の控え（コピー）をお取りください。

☆この大会に関する問い合わせについて☆

※問い合わせはメールでのみ受付いたします。E-mail：miyagikentaku@gmail.com
注：携帯電話・スマートフォンの場合は、miyagikentaku@gmail.com からのメールを受信できることが必要となります。

第52回全日本社会人卓球選手権大会 参加資格

- ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で平成30年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注1参照）に定められた有段者であること。
 - ②日本学生卓球連盟及び全国高等学校体育連盟に登録している者は出場できない。
 - ③学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生及び生徒（大学院生は除く）は出場できない。
 - ④勤労を生活の主としている者で、大学、短期大学において夜間授業を行う学部、通信による教育を行う学部等に在籍、及び、高等学校において定時制・通信制の課程を履修しているものは参加できる。
 - ④本年度の全日本卓球選手権大会（マスターズの部）への重複出場は禁止する。ただし、マスターズの部に参加した者でも、この大会の男女ダブルスには出場することが出来る。
 - ⑤各都道府県の代表者選出方法は各加盟団体に一任する。
 - ⑥外国籍選手は日本で出生して引き続き3年以上日本に在住している者、あるいは、引き続き10年以上日本に在住している者は、男女シングルスに出場できる。ダブルス種目については出場資格制限はない。
 - ⑦無条件参加選手
 - ◎シングルの部
 - (イ)平成29年度全日本社会人卓球選手権大会 男・女シングルスベスト16の者。
 - (ロ)平成29年度全日本卓球選手権大会（一般の部） 男・女シングルスベスト16の者。
 - (ハ)クラブ委員会からの推薦者男・女各2名
平成30年度全日本クラブ選手権大会終了後に決定する。
 - ◎ダブルスの部
 - (イ)平成29年度全日本社会人卓球選手権大会 男・女ダブルスベスト8の組。
 - (ロ)平成29年度全日本卓球選手権大会（一般の部） 男・女ダブルスベスト8の組。
- 宮城県卓球協会登録者
該当者無し

注1) 段級制規程要約

段位取得について(平成4年3月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人卓球選手権大会 ②全日本選手権大会(マスターズの部)
③全日本選手権大会(一般・ジュニア) ④全日本選手権大会(団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会
上記5大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権(マスターズの部)の70歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約（平成元年以降）	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会3回目出場者	2段
(ウ) 同一大会5回目出場者	3段
(エ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト16入り経験者	4段
(オ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト4入賞経験者	5段
(カ) 上記①及び③大会（一般）単または複の優勝者	6段